# 共同研究講座

# ※多くの企業研究員が大学に常駐し、強固な連携基盤とオープンイノベーション共同研究環境を構築

DMG MORI DWALC

デジタルヘルスケア ワークスタイル研究講派

DMG森精機 株式会社・ ナショナル株式会社 株式会社WALC

2023年10月1日~ 2026年9月30日

・製造業をはじめとした 様々な職種において、労働 者が健康に、よりよい環境 で働くための仕組み構築に むけて、デジタルヘルスを活 用した疾患発症予測モデ ルの精度検証や行動変容 モデル開発、OOL健診の 普及等を通して労働環境 を改善するためワークスタ イルの再定義を行うことを 目的としている。世界中の 製造現場から単調で健康 リスクの伴う仕事を排除し、 クリエイティブで活気ある ワークスタイルを構築する



### SUNTORY

2017年11月1日~

2024年10月31日

・健康ビッグデータ

の解析により水分

摂取と水分の体内

動態と健康状態の

関係を明らかにし、

短命といわれる青森

改善につなげ、最終

的には国民全体の

健康の維持・増進

への貢献を目指す。

県民の疾病予防・

ウォーターヘルス 食と健康科学講座 サイエンス講座 ハウス食品グループ サントリー食品インター 本社 株式会社

> 2018年6月1日~ 2025年3月31日

・食生活と様々な健 康指標との関連性 を解明し、健康寿命 延伸につながる食習 慣を明らかにしていく。 特に近年の超高齢 社会において、認知 症といった疾患や、 さらにはフレイルと呼 ばれる虚弱状態が 問題となっており、こ うした社会課題に対 してエビデンスをもと にした食のスタイル



# ®#£, #10€, #E€,

野菜生命科学講座

カゴメ株式会社 2018年1月1日~

2023年12月31日

・認知症やメタボ リックシンドローム 等の慢性疾患の 予防・改善におい て野菜摂取が寄 与する科学的エ ビデンスの獲得と 作用機序の解明 と、野菜摂取量 を増やすための社 会的な仕組みづ くりの開発を目的



#### **JHIJEIDO**

ビューティーウェルネス 学研究講座

株式会社資生堂

2022年4月1日~ 2027年3月31日

・弘前大学で 2005年から実施 してきた「岩木健康 増進プロジェクト のビッグデータを基 に、人の全体性 (肌、身体、ここ ろ)を科学する研 究を推進すること で、人が美しくより よく生きることへ貢





デジタルニュー トリション学講座 味の素株式会社

2020年4月1日~ 2025年3月31日

ビッグデータを基に、 生体のアミノ酸を中心 とする代謝産物によるリ スク解析や、介入試験 結果による健康寿命延 伸年数の統計解析等 のデジタル技術を駆使 し、日本の高齢者の課 題や生活習慣病の予 防につながるソリュー ションを開発し、生活者 の健康増進/栄養改



#### Kao きれいを こころに 未来に

アクティブライフ プロモーション

学研究講座

花王株式会社

2016年12月1日~ 2025年12月31日 ・生涯にわたり"動ける からだづくり"をサポー トするための"健康を

科学する"研究を推 進する。 ・弘前大学と連携した 総合的なヘルスケア 研究の更なる強化に より、"よきモノづくり" を行ない、「清潔」 「美」「健康」「高齢化」 などの分野で社会的

課題解決に貢献する。

Kracie

OOL推進医学講座 クラシエ株式会社

2018年4月1日~ 2024年3月31日

冷えとフレイルに関 連する研究を起点に モデルや行動変容モ 超多項目健康ビッグ デルの提供を通じ、 データ活用による未 個々人の疾病リスク 病状態の改善を目 を低減させ、高い健 的として活動を行うこ 康度を維持したまま とで、ヘルスケアに関 で高齢期を迎えられ わるイノベーションを る社会を実現し、社 日々の暮らしへ取り 会保障費の逼迫や労 入れることを提案、 働力不足(社会活 力の低下)という社 QOL向上を推進し 続けることを目指す。



VALUE HR



健康寿命

延伸学講座

2022年8月1日~

2025年7月31日

・開発する疾病予測

体内環境モデリング 研究講座

Glica

江崎グリコ株式会社 バリューHR・東京海上HD

> 2023年4月1日~ 2026年3月31日

・「岩木健康増進プロ ジェクト」を通して、産官 学民の共創の下で、健 康な方の分子生物学的 データ・生理・生化学的 データ・個人生活活動 データ・社会環境的デ 夕を取得し、解析を行い 特に酸化ストレス、糖化、 炎症と腸内細菌叢といっ た体内環境の変化に着 目し、生活習慣病の発 症やQOLの低下との関 連性を明らかにすることを



🍊 株式会社テクノスルガ・ラボ

フローラ健康 科学講座

テクノスルガ・ ラボ株式会社

2018年4月1日~ 2024年3月31日

・弘前大学が実施し てきた「岩木健康増 進プロジェクト」等の ビッグデータを基に、ヒ トの健康寿命・〇〇 Lの向上に貢献する ための研究、特に腸 内フローラおよび口腔 内フローラに着眼した 研究を推進し、研究 成果を社会に還元す ることを目的とする。



# 学講座

ヒューマン・メタボローム

#### 2019年5月1日~ 2024年4月30日

・「心と身体の健康増 進」「疾患の超早期 予知・予兆」に資する バイオマーカーの探 索と、将来の疾患リ スク予測モデルの構 築と実用化に向けて、 メタボロミクスのオ ミックスデータを解析 し、心身の健康およ び疾患の早期発見に つながる予測モデル を構築する。





## メタボロミクス イノベーション

テクノロジーズ株式会社

# 2026年3月31日

べることを目的とする。





#### ミルク栄養学 研究講座

雪印メグミルク 株式会社

2023年4月1日~

・「岩木健康増進プロ ジェクト」の超多項目 健康ビッグデータ解析 による健康因子として の腸内菌叢の役割を 解明するため、乳製 品摂取をはじめとする 食事パターンと腸内 菌叢の関連において 集団および個人の健 康状態への影響を調



# 

先制栄養 医学講座

協和発酵バイオ 株式会社

2017年2月1日~ 2025年3月31日

健康ビッグデータ を活用し、健康の 気づきとなる検査 指標(体力、栄 養、血管、免疫 など)と必要な啓 発手法の開発を 行い、寿命革命へ の貢献を目指す。



## 明治安田生命

未病科学 研究講座

明治安田生命 保険相互会社

2019年1月1日~ 2024年12月31日

・岩木健康増進プ ロジェクトのデータ から得られた科学 的知見や健康教育 に関する知見を活 用し、「未病」に着 目した疾病予防・ 早期発見促進の新 サービスの開発を行 なうことで、健康寿 命の延伸に貢献す る。



## MíR(eL

データヘルス 研究講座

株式会社ミルテル

2022年1月1日~ 2024年12月31日

・加齢や生活習慣・環境 によって短縮速度が変化 する「テロメア」、テロメア と類似した挙動を示しつ つ可逆的に長さが変化す る「Gテール」、発現パ ターンが変化する「小分 子RNA」などを測定し、 健康ビックデータと組み 合わせ、未病状態との相 関を分析することで、健 康診断結果から算出で きる未病予測モデルを開 発する。さらに他のデータ を融合させ、新たな疾患 予測や検査法を研究・開 発することで健康寿命の 延伸に貢献。



## **///** 小林製薬

オーラルヘルス サイエンス学講座

小林製薬 株式会社

2023年2月1日~ 2026年1月31日

・医学-歯学の連携によ り取得した健康ビッグ データを用いて、口腔衛 生状態と全身の健康へ の関係性を解明し、口 腔機能及び全身疾患の 予防・改善に繋がる製 品・サービスを創造する。 また、健康ビッグデータ から加齢に伴う性ホルモ ンや認知機能の変化と 全身の健康への関係性 を解明し、疾患の予防・ 改善に繋がる製品・サー ビスを創造する。



#### PreMedica

予防医学 推進学講座

株式会社 プリメディカ

2023年4月1日~ 2026年3月31日

・エビデンスの蓄積を行 うことで、リスク検査の 価値向上と疾患の発症 予防につなげ、更なる 予防医学の発展を目 指すことを目的としてい る。特に、日本人の死 因の4分の1を占めて いる動脈硬化性疾患の 予防につなげることで、 将来的な日本人の健 康寿命延長を目的とし た研究を行う。



大塚製薬株式会社

女性の健康推進 医学講座

> 大塚製薬 株式会社

2017年12月1日~ 2024年11月30日

・弘前大学が実施してき た健康増進プロジェクト 等で得られた情報などを 活用し、人の健康寿命・ QOLの向上に貢献する ための研究、特に女性の 健康寿命・OOLの向上 に貢献するため、エクオー ルに着眼した研究を推進 し、研究成果を社会に還 元し、最終的には青森県 民の健康増進に貢献す るとともに、世界に先駆け た最新の情報と解決策を 国内外へ発信することを 目指す。